

東日本大震災から4年目。
復興を願うミュージシャンがたどりついた
震災の記憶をうたい継ぐ“口承歌”という可能性

2015年3月11日リリース

Song of the Earth

復興で綴った唄はくりかえされる震災を経てひとつの曲に…

「Song of the Earth」は、中越地震、東日本大震災という二度の大震災を経て、旅するバンド、ラビラビによって紡がれました。「地球の声をきこう」と呼びかけるこの唄は復興を願うミュージシャンの間で共感呼び、グラスルーツな広がりの中で自然とうたわれるようになりました。

大地がふるえると、何が起こるのか、あの日感じたことをうたい継いでいきたい…。ラビラビを発起人に、そんな想いに共感するミュージシャンやアーティスト、サポーターが集まり、CDと絵本をつくりました。多くの人がうたいやすいようにあえて楽曲の著作権はフリーにし、さらに太陽光発電でレコーディングにかかる電力をまかない、多くの人たちの募金によって制作しています。自然エネルギーや人の思いというパワーがたっぷりつまった地球の唄は大震災から4年目の3月11日にリリースし、CDの売上は全額、福島の子どものための健康を維持するための基金に充てられます。

パワー
たっぷり
つま
まっ
てま
す

大地の声をきいて それをまた伝えて行く
ともに生きることは伝えること
'Song of the Earth'
Candle JUNE



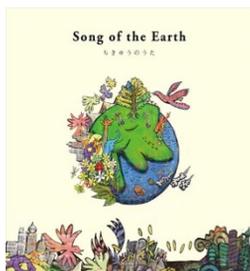
【CD】 Song of the Earth

収録曲：Song of the Earth/Song of the Earth（朗読）

発売日：2015年3月11日

販売価格（絵本とセットで）：3,000円

【参加アーティスト】ラビラビ/青谷明日香/やじいfromかむあそうトライブス/遠藤恵from一二三/竹舞 from TURTLE ISLAND, ALKDO/Tac from zodiac nova, pop-machine & contemporary system/MARLYN from 白檀/千尋/Kuniyuki/坪田直子（朗読）



【絵本】 Song of the Earth ちきゅうのうた

ことば：ラビラビ

絵：門秀彦

装幀：GAS

全16ページ/オールカラー

発行日：2015年3月11日



【発起人プロフィール】

ラビラビ…年間100本以上のステージをこなす旅するバンド。ふたりの打楽器 (Piko, Nana) と声 (azumi) の独創楽団。音楽とダンスを愛するひとびとに導かれフェスやパーティ、カフェから社寺を舞台に音旅を続ける。

<http://www.rabirabi.com>



Song of the Earth
 作詞 azumi (アズミ)

作曲 青谷明日香

だいちが ふるえるとかいて
 じしんとよむ
 だいちが ふるえる
 みずのやまがでける

あのと き ちきゆうさんは
 なにに ふるえたんだろう
 なにが あふれたんだろう

わたしたちにも あるよね
 ココロ ふるえる よる
 わたしたちにも あるよね
 ナミダ あふれる と き

だいちが ふるえるとかいて
 じしんとよむ
 だいちが ふるえる
 いしはおどりはじめ

あのと き ちきゆうさんは
 なにと おどったんだろう
 なにと ゆれてたんだろう

わたしたちにも あるよね
 ココロ ゆさぶる ゆめ
 わたしたちにも あるよね
 カラダ はじける と き

あのと き なにを
 つたえたかったんだろう
 あのと き なにを
 うけとったんだろう

これからもっと
 みをかたむけていこう
 これからもっと
 ココロかたむけていこう

ちきゆうさんの こえ
 ちきゆうの うた
 それが Song of the Earth

Song of the Earthができるまで

この唄は、Candle JUNEが毎年開催している中越地震の慰霊祭<SONG OF THE EARTH 2009>でラビラビによって即興で紡がれたその場限りの唄でした。その後、ラビラビは2011年3月11日に八戸で震災を体験したことから、全国のライブ会場で寄付を募りながら被災地の避難所を回るツアーを敢行。震災の傷を抱えながら生きる人びとの心を包み込む音楽の力をあらためて実感し、あのと き即興で紡いだ唄を楽曲にすることを決意します。作曲を青谷明日香に依頼し、2011年に行なわれた同慰霊祭で発表。以後その唄は復興を願うミュージシャンの間で話題を呼び、ラビラビと縁のあるミュージシャンの間で自然とうたわれるようになり、そこから口承歌をつくるというコンセプトが生まれます。そして今年の1月、サウンドプロデューサーに世界的に活躍するKuniyuki Takahashiを迎え、コンセプトに賛同したミュージシャンやエンジニアが集まり、楽曲のレコーディングが行なわれました。



太陽光発電によるレコーディング

レコーディングは太陽光発電によるソーラーサウンドを提供するRA-energy design-の全面的な協力を受けて行なわれました。快晴にめぐまれたおかげで通常の電力より高音質と言われる太陽光の力を余すところなく発揮した音質に仕上がっています。

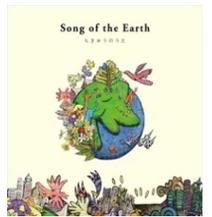
RA-energy design-: 田口和典(田口音響)、藤田晃司、村上智章からなる音響チーム。2012年に日本武道館で行われたTHE SOLAR BUDOKANをはじめ、佐藤タイジ率いるシアターブルックなどの出演するフェスをサポートし続けている。



画家、門秀彦による絵本を同時発行

地震がおきると何が起こるのか。そのことを子どもに語り継いでいくために、絵本をつくりました。Song of the Earthの歌詞に画家の門秀彦が絵をつけた絵本は、CDに収録された朗読と合わせて楽しむことができます。

門秀彦:NHK「みんなの手話」、スペースシャワーTV等のアニメーション作品の制作の他、エッセイ、絵本等の著作があり、宮本亜門、佐野元春等のアートワークを手掛けるなど創作は多岐に渡る。



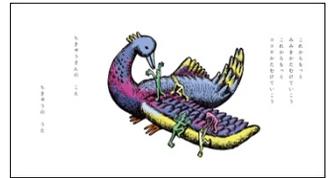
女優、坪田直子の朗読を収録

CDには女優の坪田直子による朗読をカップリングとして収録。同時発行の絵本と合わせて唄の世界にどっぷり浸ることができます。

坪田直子:元東京キッドブラザースに所属し、女優として活躍。CMやTVのナレーションとしても高い評価を受けている。



だいちが ふるえるとかいて
 じしんとよむ
 だいちが ふるえる
 みずのやまがでける



あのと き ちきゆうさんは
 なにに ふるえたんだろう
 なにが あふれたんだろう

ボランティア精神と多くの人の愛と寄付金を原動力に

Song of the Earthは、それぞれのミュージシャン・スタッフのボランティア精神と、プロジェクトに賛同した人びとの愛と募金によってつくられています。プレス代や印刷費などの製作費をまかなうため、募金は現在も進行中。CDの売上は全額、福島の子どものための健康を維持するための基金に充てられます。プロジェクトのサイトでは、レコーディング風景を写したPVが見られるほか、CDと絵本の購入とプロジェクトへの寄付が行なえます。

[販売価格]

□3,000円 (CD+絵本)

□5,000円 (CD+絵本+寄付)

□10,000円 (CD+絵本+寄付)

□30,000円 (CD+絵本+寄付)

※売上は全額福島の子どものために届けられます。

取扱サイト: sotereleaseproject.com

Message

参加アーティストからのメッセージ



「心が暴れたり、水の山ができるように涙があふれたり、地球に起きることは、私たちにもあることではないでしょうか。地球と対峙するのではなく、地球も私たちと同じように生きているという感覚を持たば、私たちの心は震災で受けた傷を少しは受けとめられるのではないかと思います」
azumi (作詞・Vo./ラビラビ)



「3.11の後、多くの人がそうだったように私も自分の生き方を模索した4年間でした。Song of the Earthはそれに対するひとつの答えを含んでいるのではないのでしょうか」
青谷明日香 (作曲・Vo.)



「でき上がった楽曲はこの唄の1頁目。今後いろんな場所で新しい2頁、3頁目が生まれてくることを願っています」
Kuniyuki (サウンドプロデューサー/サウンド・デザイナー・DJ)



「この唄を知ったときは、ああ、こういう目線があったのかと思った。母親なので、とくに響いたのかもしれない。だから親に聞いてもらいたいし、今後も唄っていきたい」
竹舞 (Vo./from TURTLE ISLAND, ALKDO)



「あのとき感じたことを伝えたい。ひとりの唄い手として素直にうたいたいと思った唄です」
MARLYN (Vo./from 白檀)



「悲しみをうたっているわけではないのに、とても胸を打つのは、この唄が大きな愛にあふれているからでしょう」
千尋 (Vo.)



「今回ギターをひきながら、僕はあの日のことを思い出した。そして、自然災害の恐ろしさと人間が作り出したもので被害に遭い、未だに戻れない人がいるということを思ったんだ」
Tac (Gt./from zodiac nova, pop-machine & contemporary system)



「なかなか言葉にできないし、曲にもできないことだけど、実際に唄うことで忘れたらあかんことやなあと、すごく思えた唄」
遠藤恵 (P/ from 一二三)



「この唄は最初YouTubeで見たんだ。衝撃を受けてすぐに歌詞を耳コピしてうたっていた。ライブでうたいたいと思ってラビラビに聞いたら、もちろん！ってね」
やじい (B/かむあそらトライブス)



「4年の時が経つ今でも自宅に戻れず、自分で思う以上にストレスを抱えている福島の子どもたちがいる。ささやかだけどこのCDの売上を列島中のみなさんからの想いと一緒に届けたい」
Nana (Per./ラビラビ)



「3.11のときに八戸で体験した地球のゆれは一定だった。地球ってこうゆれるのかと衝撃を受けた。そのときの揺れのイメージでこの曲のリズムのスタイルを作ったんだ」
Piko (Per./ラビラビ)

Schedule

ラビラビ ライブスケジュール

Song of the Earthプロジェクトへの取材はラビラビまでお気軽にお問合せください。
お問合せ sote.releaseproject@gmail.com まで

3/7(土) 東京都 日比谷公園 「Peace On Earth」

3/11(水) 福島県 福島市 「LOVE FOR NIPPON」特設会場 追悼祈念式典

3/28(土) 東京都 代々木公園 「春風2015」

5/2(土) 熊本県 野外劇場ASPECTA「虹空2015」

4/4(土) 東京都 三軒茶屋 orbit リリースパーティ

5/9(土) 千葉県 富津岬「Re:birth2015」

5/23-24(土、日) 山梨県 道志の森キャンプ場「Natural High!2015」